

安全性データシート

改定日: 2021年3月8日

発行日: 2009年12月30日

SDS番号: 167-27

セクション 1: 物質 / 混合物、および企業 / 業務の識別

1.1. 製品識別

706 Rustsolve™

1.2. 物質または混合物の関連識別用途、並びに推奨用途

浸透オイル - ナット、ボルト、付属金具を母体を傷つけずにゆるめます。

1.3. 安全性データシートのサプライヤ情報

会社:

A.W. CHESTERTON COMPANY

860 Salem Street

Groveland, MA 01834-1507, USA

電話: +1 978-469-6446 Fax: +1 978-469-6785

(月-金: 8:30-5:30 PM 東部標準時)

SDSの要求: www.chesterton.com

Eメール (SDSに関する質問): ProductSDSs@chesterton.com

Eメール: customer.service@chesterton.com

供給元:

株式会社 明治屋

神奈川県横浜市中区尾上町5丁目76番地

TEL 045-681-2741 FAX 045-681-2731

Eメール: contact-ches@meidi-ya.com

1.4. 緊急時電話番号

1日24時間、年中無休

Infotrac (追跡) 電話番号: +1 352-323-3500 (料金受信人払い通話)

セクション 2: 危険有害性の要約

2.1. 物質または混合物の分類

2.1.1. GHSによる分類

引火性液体, 区分 3, H226

吸引性呼吸器有害性, 区分 1, H304

皮膚の炎症, 区分 2, H315

特定標的臓器毒性 (単回ばく露), 区分 3, H336

水生環境有害性, 慢性, 区分 3, H412

2.1.2. 追加情報

H (危険) ステートメントの全文: セクション2.2および16を参照。

2.2. ラベル項目

GHSによるラベル付け

危険の絵表示:



信号語:

危険

危険有害性情報:	H226 H304 H315 H336 H412	引火性の液体および蒸気。 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。 皮膚刺激。 眠気やめまいのおそれ。 長期的影響により水生生物に有害。
使用上の注意:	P210 P233 P241 P261 P264 P271 P273 P280 P301/310 P331 P302/352 P332/313 P304/340 P362/364 P403/235 P501	熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。 容器を密閉しておくこと。 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器機器を使用すること。 蒸気/スプレーの吸入を避けること。 取扱後は皮膚よく洗うこと。 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。 環境への放出を避けること。 保護手袋/保護眼鏡を着用すること。 飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。 無理に吐かせないこと。 皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹼で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。 許可された廃棄物処理プラントで内容物/容器を処分してください。

補足情報: なし

2.3. その他の危険性

既知の影響なし

セクション 3: 組成、成分情報

3.2. 混合物

危険成分 ¹	重量%	CAS番号
蒸留物(石油)、水素化処理された重ナフテン酸*	50 - 55	64742-52-5
水素化精製軽質石油留分	40 - 50	64742-47-8

H(危険)ステートメントの全文: セクション16を参照。

*IP 346の測定によるとDMSO抽出物の含有量は3%以下。

¹分類基準: 労働安全衛生法, 毒物および劇物取締法, GHS

セクション 4: 応急処置

4.1. 応急処置情報

吸入:	新鮮な空気のある場所へ移動してください。呼吸が停止している場合は、人工呼吸を実行してください。直ちに医師の診断を受けてください。
皮膚への付着:	石鹼水で皮膚を洗浄してください。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。刺激が持続する場合は医師の診断を受けてください。
目に入った場合:	水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
呑み込んだ場合:	無理に吐かせないでください。直ちに医師の診断を受けてください。

応急手当を行う人の保護: 個人に対する危険がある場合や適切な訓練が行われていない場合は、行動を起こさないでください。犠牲者に手当を施している間は製品に触らないでください。蒸気の吸入を避けること。個人用保護具に関する奨励事項についてはセクション888.2.2参照してください。

4.2. 最も重要な徴候と影響（急性および遅延）

飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。高濃縮蒸気は目や呼吸器系に刺激を与え、めまい、頭痛その他の中枢神経の異常を起こすことがあります。長い間あるいは繰り返して皮膚に付着すると、皮膚に刺激を与えたり、脱脂を起こすことがあります。

4.3. 緊急に医師の診察および特別な治療が必要な徴候

症状の手当てをしてください。

セクション 5: 火災時の処置

5.1. 消火剤

適切な消火剤: 二酸化炭素, 乾燥薬品, 発泡 あるいは 水スプレー

不適切消火剤: 大量の水噴射

5.2. 物質または混合物から生じる特別な危険性

なし

5.3. 消防の際のアドバイス

熱に晒された容器は水で冷却してください。消防士に自給式呼吸器の着用を勧めてください。

セクション 6: 漏出時の処置

6.1. 作業者の注意、保護装備、緊急時の手順

その場を退去してください。充分換気してください。セクション8で指定された露出制御と人体保護を利用してください。

6.2. 環境に対する注意

下水、河川、水路に流さないでください。

6.3. 閉じ込めおよび清掃の方法・材料

流出分は小さな場所に回収してください。発火源に近づけないでください。禁煙。発火源が除去できなければ、水で洗い流してください。吸収性の材料（砂、おがくず、クレー等）で回収し、廃棄に適した容器に入れてください。

6.4. 他のセクションの参照

廃棄処理についてはセクション13を参照してください。

セクション 7: 取扱い及び保管上の注意

7.1. 安全な取扱いのための注意

作業区域で飲食、喫煙をしないでください。使用時以外は容器の蓋を閉めてください。容器を接地しアースを取ること。空気より重い蒸気は低部に溜まります。蒸気が蓄積すると、点火したときに発火や爆発を起こす可能性があります。セクション8で指定された露出制御と人体保護を利用してください。

7.2. 安全な保管のための条件（配合禁忌を含む）

熱や湿気のない所に保管してください。

7.3. 具体的な最終用途

予防策は特になし。

セクション 8: 暴露防止及び保護措置

8.1. 管理パラメーター

成分	日本産業衛生学会 OEL		ACGIH TLV	
	ppm	mg/m ³	ppm	mg/m ³
オイルミスト、鉱物物	N/A	3	N/A	5
水素化精製軽質石油留分	N/A	N/A	212*	1200*

*付録Hに記述されたACGIH TLVs®およびBEIs®の「ある種の精製炭化水素溶剤蒸気混合物の相互算出法」に基づく。

生物学的限界値

構成成分に対する生物学的暴露限界はありません。

8.2. 曝露制限

8.2.1. 設備対策

通気の良い場所でのみ使用してください。許容限界を超える場合は、防爆性の換気装置を使用してください。

8.2.2. 作業員の保護対策

呼吸器系の保護: 通常不必要。許容限界を超える場合は、埃/有機蒸気フィルター付きの半面あるいは全面呼吸マスクを使用してください(例: 欧州規格フィルタータイプ A-P2)。

手袋: 耐薬品性手袋(例: Viton*, ネオプレン、ニトリル)*DuPont 社の登録商標。

目 / 顔の保護: 安全メガネ

その他: 不浸透性の衣服(例: Viton*, ネオプレンあるいはニトリル)を必要に応じて着用し皮膚を保護してください。*DuPont 社の登録商標。

8.2.3. 環境暴露措置

セクション6と12を参照。

セクション 9: 物理的及び化学的性質

9.1. 基本的な物理・化学的性質に関する情報

形状	希薄な液体	臭気	石油臭
色	青 あるいは 緑	においの閾値	未定
初留点	未定	20° Cでの蒸気圧	未定
融点	未定	重量比芳香物含有率 (%)	< 0.5%
揮発率%(容量比)	49.7%	pH	適応せず
引火点	53.3° C	相対密度	0.84 kg/l
方法	PM閉カップ	係数(水/油)	< 1
粘度	未定	蒸気密度(空気=1)	> 1
自己発火温度	未定	蒸発率(エーテル=1)	< 1
分解温度	未定	水溶性	ごくわずか
高/低引火性あるいは高/低爆発限界	未定	酸化性	未定
引火性(固体、ガス)	適応せず	爆発性	未定

9.2. その他の情報

なし

セクション 10: 安定性及び反応性**10.1. 反応性**

セクション10.3と10.5を参照。

10.2. 化学的安定性

安定

10.3. 危険な反応の可能性

通常の使用条件では危険反応は起こっていません。

10.4. 避けるべき条件

炎、熱、スパーク、および高熱表面。

10.5. 配合禁忌薬品

液体塩素や濃縮酸素のような強力酸化剤。

10.6. 危険な分解物

一酸化炭素、アルデヒド、その他の有毒煙。

セクション 11: 有害性情報**11.1. 毒性影響に関する情報**

通常使用時の主な接触経路: 吸引、皮膚や目への付着。既往性皮膚炎のある作業員が晒されると、一般に症状が悪化します。

急性毒性 -

経口: 成分に関する入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

物質	テスト	結果
蒸留物(石油)、水素化処理された重ナフテン酸	致死量50(LD50), ラット	> 5000 mg/kg, 推定
水素化精製軽質石油留分	致死量50(LD50), ラット	> 5000 mg/kg

経皮: 成分に関する入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

物質	テスト	結果
蒸留物(石油)、水素化処理された重ナフテン酸	致死量50(LD50), うさぎ	> 2000 mg/kg, 推定
水素化精製軽質石油留分	致死量50(LD50), うさぎ	> 2000 mg/kg

吸入: 高濃縮蒸気は目や呼吸器系に刺激を与え、めまい、頭痛その他の中枢神経の異常を起こすことがあります。

物質	テスト	結果
蒸留物(石油)、水素化処理された重ナフテン酸	致死濃度50(LC50), ラット, 4時間	> 5 mg/l, 推定
水素化精製軽質石油留分	致死濃度50(LC50), ラット, 4時間	> 5.28 mg/l

皮膚腐食性/刺激性: 皮膚刺激。

物質	テスト	結果
蒸留物(石油)、水素化処理された重ナフテン酸	皮膚の炎症, うさぎ	炎症なし
水素化精製軽質石油留分	皮膚の炎症, うさぎ	炎症なし / かすかな炎症 / 中等度の刺激性

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 成分に関する入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

物質	テスト	結果
蒸留物(石油)、水素化処理された重ナフテン酸	目の炎症, うさぎ	炎症なし
水素化精製軽質石油留分	目の炎症, うさぎ	炎症なし / かすかな炎症

呼吸器または皮膚の感作: 皮膚の感作: 成分に関する入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

物質	テスト	結果
蒸留物(石油)、水素化処理された重ナフテン酸	皮膚の感作, モルモット	過敏性なし
水素化精製軽質石油留分	皮膚の感作, モルモット	過敏性なし

胚細胞突然変異原性: 成分に関する入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

がん原性: 本製品は、国際がん研究機関(IARC)あるいは欧州化学機関(ECHA)の規定する発がん性物質を含有していません。

生殖毒性: 成分に関する入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

STOT - 単回暴露: 眠気やめまいのおそれ。

STOT - 反復暴露: 成分に関する入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

吸引性呼吸器有害性: 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。

その他の情報: なし

セクション 12: 環境影響情報

本製品用に特別に決定された生態毒性データはありません。以下の情報は類似した物質の成分と生態毒性に基づいています。

12.1. 毒性

長期的影響により水生生物に有害(成分データによると)。

12.2. 持続性・分解性

水素化精製軽質石油留分: 空気中で分解性があります, 本来生分解性. 蒸留物(石油)、水素化処理された重ナフテン酸: 容易に生分解しません(生分解: 31% OECD 301F, 28日)。

12.3. 生物蓄積の可能性

蒸留物(石油)、水素化処理された重ナフテン酸: 生体内蓄積しません。水素化精製軽質石油留分, オクタノール / 水分配係数(log Kow): 2.1 - 5, 推定。

12.4. 土壤中の移動性

液体, 非水溶。水に浮きます。蒸留物(石油)、水素化処理された重ナフテン酸:

大量に放出すると、土壤に浸透し地下水を汚染する恐れがあります。水素化精製軽質石油留分:

環境中に放出されると急激に大気内に蒸発します。環境移動性を決定する際は、本製品の物理、化学特性を考慮してください(セクション9参照)。

12.6. その他の悪影響

既知の影響なし

セクション 13: 廃棄上の注意**13.1. 廃棄処理方法**

使用済み、未使用の製品は焼却あるいは燃料融和してください。汚れた物や容器は正式に認可された設備で焼却してください。地方自治体、国家条例を調べ、最も厳しい条件を遵守してください。

セクション 14: 輸送上の注意**14.1. UN番号**

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: UN1993

14.2. UN固有輸送名

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: FLAMMABLE LIQUID, N.O.S. (CONTAINS NAPHTHA)

14.3. 輸送危険性分類

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 3

14.4. 梱包グループ

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: III

14.5. 環境への危険性

環境危険性なし

14.6. ユーザーへの特別な注意

使用に関する特別な注意はなし

14.7. Marpol 73/78附則IIによる貨物輸送およびIBCコード

適応せず

14.8. その他の情報

IMDG: EmS, F-E, S-E

ADR: Classification code F1 , Tunnel restriction code (D/E)

セクション 15: 適用法令**15.1. 物質または混合物に固有の安全性・保健・環境規制 / 法規**

日本PRTR

クラスI薬品:

なし

クラスII薬品:

なし

その他の国内規制: 消防法: 危険物 第4類第2石油類

労働安全衛生法: 引火性の物

セクション 16: その他の情報

略語一覧: ACGIH:米国産業衛生専門家会議
 ADN:内陸水路による危険物の国際輸送に関する欧州協定
 ADR:道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定
 ATE:急性毒性推定値
 BCF: 生物濃縮係数
 cATpE: 変換後の急性毒性推定値
 GHS:世界調和システム
 ICAO:国際民間航空機関
 IMDG:国際海上危険物規定
 LC50:試験動物の50%を死亡させる致死濃度
 LD50:試験動物の50%を死亡させる投与量
 LOEL:最小作用量
 NOEC:最大無作用濃度
 NOEL:最大無作用量
 N/A:該当せず
 PEL:許容暴露限度
 RID:鉄道による危険物の国際輸送に関する規定
 SDS:安全性データシート
 STEL:短時間暴露許容濃度
 STOT: 特定標的臓器毒性
 TLV:暴露限界
 その他の略語はwww.wikipedia.orgで調べることができます。

主な参考文献およびデータ出典: 独立行政法人 製品評価技術基盤機構(通称 ナイト、NITE)
 欧州化学物質庁(ECHA) - 化学物質に関する情報
 米国国立医学図書館毒物学データネットワーク(TOXNET)
 化学分類および情報データベース(CCID)

GHSによる混合物の分類方法:

分類	分類手順
引火性液体 3, H226	テストデータに基づく
吸人性呼吸器有害性 1, H304	成分ベース
STOT 単回暴露 3, H336	架橋原理「希釈」
皮膚刺激性 2, H315	算出方法
水生慢性 3, H412	算出方法

関連するH(危険)-ステートメント: H226: 引火性の液体および蒸気。
 H304: 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。
 H315: 皮膚刺激。
 H336: 眠気やめまいのおそれ。
 H412: 長期的影響により水生生物に有害。

その他の情報: なし

本改訂によるSDSの変更: セクション 1.3, 2.1, 2.2, 3, 4.1, 8.1, 11, 12.1, 16.

本情報は使用物質の供給元が発行したデータにのみ基づいており、混合物自体に基づくものではありません。
 使用者の特別な目的に対する製品の適合性に関する保証は一切明示、暗示されていません。適合性は使用者自身が決定しなければなりません。